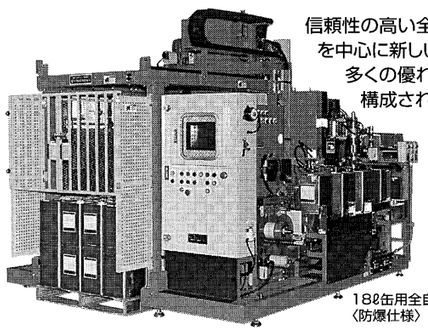
液体用全自動充塡システム



信頼性の高い全自動充塡装置を中心に新しい制御装置、数多くの優れた周辺機器で構成されています。

18ℓ缶用全自動充塡装置〈防爆仕様〉

空缶ストック
アンキャッパー
自動充塡機
重量チェック
キャッパー
ラベラー
パターン組
パレタイザー

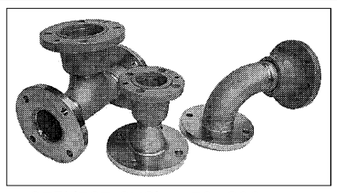
5大メリット
1.省人化　2.コストダウン　3.品質の向上
4.安全性の向上　5.コンパクト設計

特　長
●空缶供給から仮キャップ取り●注入口検知（N2ガス封入）・充塡●重量チェック、キャッピング、ラベリング●パレタイディングまで全自動運転

用　途
●硬化剤・シンナーなど低粘度液体
●塗料や接着剤、インキなど粘度の高い液体
●界面活性剤・シリコンなど発泡性の液体
●香料・タレ等食品用の各種液体

アイワ技研工業株式会社
本社・工場　〒649-6274　和歌山市金谷221
TEL073-477-4288(代)　FAX073-477-2678
東京営業所　〒331-0804　さいたま市北区土呂町2-13-3
TEL048-661-3120　FAX048-661-3121

メイワの伸縮可撓継手



SP形（FCD・SUS）　φ50～300mm

耐震にいっそうの強さを発揮する
管路接続

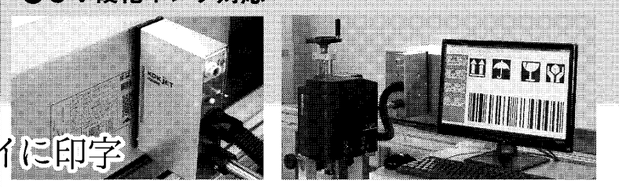
株式会社　明和製作所
〒640-8482　和歌山市六十谷551　TEL073(461)0121　FAX073(462)1305

すべてはお客さまのために。

尾高ゴム工業株式会社
〒640-0413　和歌山県紀の川市貴志川町神戸77-3　TEL.0736-64-0002　FAX.0736-64-0003

産業用インクジェットプリンターは紀州技研。

大文字用
KGK JET HQ8000　New
●印字高さ108mm
●高解像度600dpi
●最大4ヘッドまで接続可能
●UV硬化インク対応
印字高さ108mmは世界No.1！（当社調べ）



新開発　無地段ボールなどに1ヘッドで大きくキレイに印字

紀州技研工業株式会社　http://www.kishugiken.co.jp/

●本　社　和歌山市布引466　Tel 073-445-6610
●仙台営業所　仙台市太白区郡山新橋南36-1　Tel 022-748-1556
●東京営業所　墨田区向島3-41-13　Tel 03-3624-2111
●横浜営業所　横浜市港北区新横浜3-20-12　Tel 045-478-0696
●熊谷営業所　埼玉県熊谷市上之852　Tel 048-520-3110
●静岡営業所　静岡市駿河区西中原2丁目1-10　Tel 054-284-3526
●名古屋営業所　名古屋市名東区一社3-96　Tel 052-704-0505
●大阪営業所　吹田市広芝町10-35　Tel 06-6330-6651
●神戸営業所　神戸市垂水区学が丘4-24-19　Tel 078-787-7477
●広島営業所　広島市西区中広町2-17-2　Tel 082-532-3300
●福岡営業所　福岡市博多区豊1丁目3-14　Tel 092-482-6303
●海南TC　海南市南赤坂1-1　Tel 073-483-3141

技術力を全国に

和歌山県産業界

地域中核、ニッチトップ支援

和歌山県は2019年度までの5カ年計画となる「第二次和歌山県産業技術基本計画」をまとめた。地域の中核になる企業の成長を促し、地域産業の底上げを図るほか、ニッチトップ企業の集中支援、将来に中核となる企業の創出に取り組む。目指すのは「和歌山県の魅力向上」。この実現によって若年層の転出を引き留め、さらに転入を増やして県内が持続的に発展していく姿を描く。

「第二次和歌山県産業技術基本計画」は県内産業の成長を「面」で促す。ロボットや化学、医療・福祉など既存の重点産業5分野にIT・ソフトウエア、農業・林業・水産業、航空・宇宙の3分野を追加。地域の中核となる企業（コネクターハブ企業）やニッチトップ企業の支援に重点を置く。

企業間連携を加速し、個別企業を対象としていた補助金を企業群にも振り分ける。一方で共同受注、共同研究など新たなグループ形成を促す勉強会の開催なども進めたいとしている。

一方、創業支援は創業前段階からの掘り起こしと事業化のサポートに力を入れる。16年度に創業や経営ノウハウを持つ専門家で起業家支援のためのメンターチームを組織する。さらにクラウドファウンディング活用のための支援制度などを用意。ビジネスコンテストや若い起業家を大都市圏から呼び込むイベントなども開くという。計画には今後5年間で製造出荷額3兆6000億円（13年比約20%増）、全国平均1・84%を上回る開業率の達成など数値目標も盛り込んだ。

14年度末までの5カ年計画であった旧基本計画は、製造品出荷額や利益額で目標値をほぼ達成した。しかし計画自体の認知度の低さや成長分野に挑戦する企業が限定的だったことなど、この非波及性、偏在性が浮き彫りになった。新計画はこの課題を克服するため、県内経済全体の成長を確実にすることに重点を置いて策定した。

「第二次和歌山県産業技術基本計画」を進める和歌山県庁

インストラクター養成スクール開校

「カイゼン」支える人材育成

新基本計画を策定し、県内産業のさらなる活性化を図る和歌山県。16年度に「わかやまものづくり改善インストラクター養成スクール」を開校する。製造業を支援する人材の充実が狙いで、地域を知る人を育て地域にあった「カイゼン」支援を展開できるようにする。今年12月にもスクールの趣旨を知ってもらうためのセミナーなど開校記念イベントを開く計画だ。

スクールはわかやま産業振興財団に置き、東京大学大学院経済学研究科の「ものづくりインストラクター養成スクール」で学んだ校長が中心となって運営する。15年度末までに独自カリキュラムの作成など準備を進め、開校は来夏ごろ。3カ月間にカイゼンの基礎から手法まで実習も含めて体系的に学んでもらうという。

募集は10―15人の予定で、企業OBを中心に現役の企業人も少数、受け入れる。スクール卒業生はわかやま産業振興財団のアドバイザー派遣事業で各企業に派遣。派遣を受けた企業が生産ラインを見直す場合などには県の中小企業融資などでサポートする計画。

中小底上げへ仕組み作り

雇用補助金でプロ確保

県内中小企業の底上げには、技術を牽引（けんいん）する人材の確保も欠かせない。現在、和歌山県は「UIJターンによるプロフェッショナル人材確保のためのお試し雇用補助金」の活用企業を募集している。

中小企業の人材確保を支援する仕組みで、首都圏などから競争力強化のための人材を招（まね）く際、試用期間中の給与や移転費用などの経費について250万円を上限に2分の1を補助する。

5年以上の経験で事業企画や運営などの実績を持ち、受け入れ企業の競争力強化につながることが期待できる人材をプロフェッショナル人材と位置づける。県では中小企業の底上げと合わせ、都市から地方に人材を環流し、定住の促進も狙う。

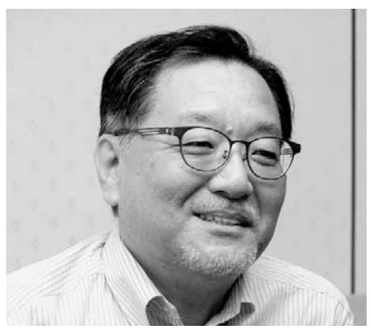
一方、和歌山県は15年内にも企業のニーズを聞いて人材のマッチングを図るプロフェッショナル人材戦略拠点も設置する予定。

お試し雇用補助金の募集は16年2月29日まで。問い合わせは労働政策課（073・441・2805）へ。

100周年、化学産業に軸

将来見据え連携不可欠

和歌山県工業技術センター所長
和坂　貞雄氏



「第二次和歌山県産業技術基本計画」で技術支援の拠点となる和歌山県工業技術センターは、16年4月に創設100周年を迎える。同センター所長の和坂貞雄氏にこれからのセンターの役割を聞いた。

◇

―100周年を前にどのような思いをお持ちですか。

「和歌山発の技術を生み出す支援をしていきたい。県内産業の礎は化学産業にある。かつて県内企業が日本では難しいと言われていた合成染料の生産に成功し、発祥の地として化学産業が大きく発展した。こうした歴史に目を向け、化学分野を軸に活性化していくべきだと考えている」

―化学分野の活性化に必要なことは。

「これまで企業は独自に発展してきた。それぞれに力はあるが、これからは将来を見据えた業界内の連携が欠かせない。特に多業種に提供できる新しい素材での連携が重要。企業のコンプライアンス（法令順守）はより環境に優しい製品でないと受け入れられなくなっており、国内の素材は県の産業技術戦略の一つであり、当センターも攻めていける」

―スマートものづくりの推進役などセンターも新たに多くの仕事を抱えています。

「センターの機能強化が重要だ。研究員の時間を作り、独自研究を増やさなければ、シーズは提供できない。企業研究者の設備利用を促して依頼試験の負担を減らし、計画的にセンターの人材を育てる。さらに産業技術総合研究所（産総研）や大学などとの連携も強め、基礎研究から製品につなげる過程の橋渡し機能を担っていく」

「国も『サポイン』など地方の中核・中堅企業を底上げする動きを本格化している。国が地方の実情に合わせてきているので我々もチューニング（調整）が必要だ。県として補助金を取っていく下地も作らなければならない。和歌山県発の大きな新技術はなかなか出てこなかったが、企業との共同研究が複数出てくれば状況は変えられると確信している」

「第二次和歌山県産業技術基本計画」はまだまだ出てくるはずだ」

―どのように足並みをそろえますか。

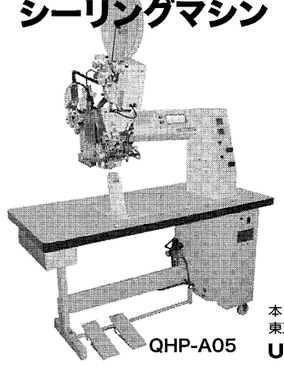
「すでに県内には化学業界の経営者、技術者が集う枠組みがいくつかある。既存の枠組みを活用すれば、新たなプラットフォームも立ち上げやすい。化学

知的財産権の総合コンサルタント　杉本特許事務所

所長弁理士　杉本　勝徳　　副所長弁理士　岡田　充浩
弁理士　内山　邦彦　　弁理士　齋藤　進
弁理士　辻　忠行　　弁理士　阿野　清孝

《和歌山事務所》〒640-8033　和歌山市本町2―1（フォルテワジマ6階）☎073（426）2631
〒543-0051　大阪市天王寺区四天王寺1―13―9（杉本特許事務所ビル）☎06（6772）6006㈹
http://www.sugimoto-patent.com

ホットエアーシーリングマシン



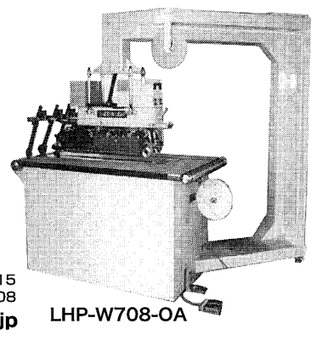
QHP-A05

プラスチックフィルム等の
溶着・縫製に！
クインライトなら解決します。

独特思考から生まれた、ユニークな構造のクインライト製品は広幅シートの幅つなぎ、フィルム類の溶着に関して、どの様なご要望にもお応え出来ます。

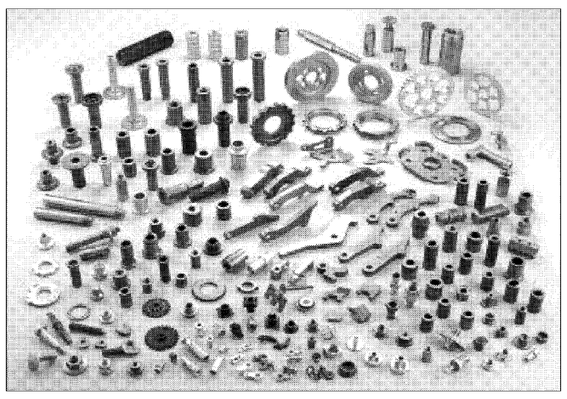
クインライト電子精工株式会社
本　社　〒640-8404　和歌山市湊576-1　TEL: 073-431-6245　FAX: 073-433-8815
東京営業所　〒110-0013　東京都台東区入谷1-21-11　TEL: 03-3875-2205　FAX: 03-3875-2208
URL: http://www.queenlight.co.jp　E-mail:info@queenlight.co.jp

オープンアーム型熱板式連続溶着機



LHP-W708-OA

次代に先駆ける　独自の発想と技術開発力



ファインプレス技術をはじめとして、お客さまの多彩なニーズにお応えするために、当社では独自の複合加工や新工法の開発に取り組んでいます。

小川工業株式会社
TPM優秀継続賞・TQM品質奨励賞　受賞

本社・工場　〒648-0011　和歌山県橋本市隅田町真土39番地
TEL.0736(32)2225　FAX.0736(32)7150
横浜営業所・紀ノ光台工場・小川(佛山)精鍛有限公司

URL:http://www.ogawa-industry.co.jp/　E-mail　info@ogawa-industry.co.jp

株式会社島精機製作所
□本社／　和歌山市坂田85番地　073-474-8239
■www.shimaseiki.co.jp
□東京支店／03-3246-0511
□西日本支店／06-6344-0511
□西日本テクニカルサービスセンター名古屋／052-363-0511
□東日本テクニカルサービスセンター福島／024-576-3291